

あなたもお読みください
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん 赤旗

日刊 1カ月 3,497円
日曜版1カ月 823円

手良民報

生活相談はお気軽に
電話 78-0943 (高橋)
08051428896 (大場美広)

〈毎月赤旗読者に配達〉

〈民報のみは月100円〉
発行 日本共産党・手良支部

今年で14回目

中坪演芸大会

今年もまた第14回目の中坪演芸大会が酉祭の10月4日に中坪公民館で行われました。

この演芸大会はかつては青年会が中心になり秋祭りによって行われていたが新しい形で復活しようと平成13年に実行委員会を発足し、区、公民館などが共催し行われてきたものです。

今年も子供からお年寄りまで大勢のみなさんの参加で賑やかに行われました。

開会行事の実行委員会会長のあいさつでは14回目で毎年続けてこられたのは区民のみなさんの協力のおかげと感謝の言葉があり、継続すればいろいろと知恵が

よしの通信 ⑧
平和と戦争の綱引き

よしの通信 ⑧

平和と戦争の綱引き

昨年の十二月の「特定秘密保護法」強硬採決に続き、今年七月には「集団的自衛権行使」を可能とする内閣の決定と、安倍内閣の危険性な動きが加速しています。日本を再び海外で戦争が出来る国にしようとする動きを止めようと、多くの国民が声を上げています。

本日に様々な分野、そして全国にわたる所で、憲法九条を守っていかうという運動が広がっています。

出てくること、高齢化社会を迎えて地区のまとまりがいつそう大事になり、この集いがその一助になればよいこと、またみなさんの協力をいただきこれからも続けていきたいとあいさつがありました。

区長、来賓のあいさつでは継続していくことの大切さが話されました。

演芸は保育園児の運動会に行ったり「ラーメン体操」で元気に幕を開けました。

小学校1つ3年生の運動会での「ようかい体操第一」も元気に雰囲気盛り上げました。

地元老所「おおいし」の寸劇、子供たちの歌、琴も、平和を願う皆さんと力を合わせて、こうした活動を続けていきます。

日々の暮らしの中で戦争

の悲惨さや、平和の大切さを話題にすることはなかなか難しいのですが、新聞「赤旗」の購読をお勧めに伺ったときや、行事などへの参加のお誘いの機会を通して、できるだけ話をお聞きする様に心がけています。

そんな中で、この頃、皆さんが言われることが大きく変わって来ているなど感じます。これは明らかに安倍政権の暴走のせいだと思

の演奏、日本舞踊、踊り、唄、カラオケ、八十歳以上のお年寄りのスライド「歩いてきた道の思い出」、16名のみなさんの俳句「四季折々」のスライドなど地元のみなさんの手づくりでバラエティに富んだ内容でした。また、飛び入りもあり華を添えました。



ようかい体操第一

おおといしは中坪の伝統芸能「八木節」、最後は全員で「ふるさと」の合唱をして幕になりました。

全戸を廻る

八ツ手のお神輿

八ツ手地区では10月5日の秋祭りに公民館主催、区が共催で恒例の神輿が区内を廻りました。

昭和56年にお祭りを復活しようと樽神輿を作りましたが、今のアルミ本体による本格的な神輿は平成11年からです。

当日は雨のため子供神輿は中止になりました。小雨の中を本神輿は台車に載せ宣伝車を先頭に太鼓車に続いて辻々に御祭礼の提灯の掲げられた道を7常会を廻り「五穀豊穡」「家内安全」などを願います。

各常会では地元の人々が神輿の綱を曳きます。



全戸を廻る神輿

八ツ手は全戸は99軒ありますが不幸のあった家を除いて全戸を廻ります。各戸ではご祝儀を、「ご苦労様」と、用意した箱に入れてくれます。屋からは慰労会を行い絆を強めました。

手良チーム雨の中を健闘

市民駅伝大会

第32回市民駅伝大会「アイナちゃん駅伝カーニバル2014」が10月13日に市陸上競技場で開かれ地区などで編成した28チーム、約230人が出場しました。

手良からは地区で選出された子供の部 男子2名、女子3名、地区の部では男子6名、女子3名の選手が雨の中を元気にたすきをつなぎ、参加することの意義を感じさせました。

子供の部では最初12位で走りましたが昨年と同じ4位でゴールしました。

選手に役員が付き添い全体での練習も7回重ねましたが、地区の部は6位となり総合では昨年は準優勝でしたが5位となりました。

てらのさと

中坪演芸大会が今年も10月4日に開催され、子供からお年寄りまで大勢のみなさんの参加で賑やかに行われた。今年で14回目となる▼平成13年に新しい形でお祭りの演芸大会を復活させよう地区で賛同者を募り実行委員会を発足し区や公民館など共催でやってきました。実行委員会は現在区長、公民館二役、氏子総代など個人で20数名でやっています。区からも助成金をいただき会議を3回ほど持つて準備を進める▼長くやって来て頭の痛いのは演目などをよくに確保すること、多くの人がいかに観に来ていただくかということである▼継続しているというところが知恵が出て、一つは保育園と小学校の子供たちが運動会にやったりダンスなどで舞台に出演してもらったことだった。これだと付き添いで父母、祖母のみなさんにも来ていただける▼また実行員の中に技術を持った人がいるので「中坪の歩み」に掲載された80歳以上の高齢者の人生や、「井月を偲ぶ句会」の俳句をスライドにつけてもらい上映した▼また、中坪の伝統芸能の「八木節」も演芸大会が継続する中で進化してきた▼高齢化社会を迎え地区のまとまりがいっそう大事になりこの集いもその一助になると思われ▼願わくば他の地区でも是非一緒にやってほしい。ノウハウはいくらでも提供するので。(T)

歴史を見直し考える ⑤

こうして見ると、日本人は決して単一の民族ではない、少なくとも西日本では、明らかに縄文人とは違って朝鮮の人々との親近性があるわけだ。

冒頭に述べたヘイトスピーチで朝鮮の人たちをのしつたり、出て行けなどと大声に叫ぶのは、いわば大に唾するようなもので、歴史的な事実や科学的な根拠を欠いた実に恥すべき行為であると言わなければなりません。

確かに、拉致問題や、核の脅威、弾道ミサイルなど、現実には厳しい国際・外交問題があります。しかし、それは現在の政治権力の問題（特に北朝鮮）であって、人種差別や憎悪にすり替えるべきものではないと思いたす。過熱するナショナリズム（民族主義）ときには国家主義……一部のマスコミや週刊誌はそれをあおっています（からは距離を置いて冷静な眼を持つことが求められています）。

更に、海が遮断よりも繋がり、海が強く持っていた例として、八世紀（奈良時代半ば頃）の平城京出土木簡によれば、租庸調の税金の調（各地の特産物）で、肥後・豊後から収められたものの中には、九州島（チェジュとつ）の鮑（かきがら）がありました。今では日本人の気風、光スポットの同島と九州との、海を通しての交流があったことを物語っています。

こうした事例は枚挙にいとまがありません。

さて、網野さんによって

「島国論」が虚構であったことと並んで、日本が古くから伝統的に「瑞穂国」つまり水田稲作の農業国家であることとされていることへの疑問・反論です。

確かに「古事記」や「日本書紀」にも出てくる通りで、このことは疑う余地がないことだと「民報」の読者の皆さんも思われるでしょう。そういう「常識」に、網野さんはどう立ち向かうのでしょうか。

また、そうした水田稲作に水田稲作に営々と努力してきた農民を普通「百姓」と言ってきましたが、百姓は必ずしも農民のことではないよ、と指摘されています。そのような見方・考え方を今後紹介していきます。

(北原明)

「物言はば晨寒し秋の風」暑さが納まったと思つ間もなくもつ秋が来た。一年の過ぎる速さに、気持ちも体力も主力疾走しなければ、ついでに行けない歳になつてしまった。

高齢者の会に行く挨拶がわりになつたよつに、一年の過ぎ行く早さを嘆き悲しむ声で会場は朝から賑やかに盛り上がりつつある。

「島国論」が虚構であったことと並んで、日本が古くから伝統的に「瑞穂国」つまり水田稲作の農業国家であることとされていることへの疑問・反論です。

確かに「古事記」や「日本書紀」にも出てくる通りで、このことは疑う余地がないことだと「民報」の読者の皆さんも思われるでしょう。そういう「常識」に、網野さんはどう立ち向かうのでしょうか。

また、そうした水田稲作に水田稲作に営々と努力してきた農民を普通「百姓」と言ってきましたが、百姓は必ずしも農民のことではないよ、と指摘されています。そのような見方・考え方を今後紹介していきます。

(北原明)

小松和江

「物言はば晨寒し秋の風」暑さが納まったと思つ間もなくもつ秋が来た。一年の過ぎる速さに、気持ちも体力も主力疾走しなければ、ついでに行けない歳になつてしまった。

高齢者の会に行く挨拶がわりになつたよつに、一年の過ぎ行く早さを嘆き悲しむ声で会場は朝から賑やかに盛り上がりつつある。

手良地区戦没者追悼式は10月9日「老人憩の家」

手良地区戦没者追悼式は10月9日「老人憩の家」手良荘の招魂碑前で行われ、追悼者として26名が参加した。手良では戦没者は126名おり遺族は89名ですが当日は9名が出席した。

社協手良支会長の祭文や伊那市社会福祉協議会会長、伊那市遺族会会長の追悼の辞ではそれぞれに「再び戦争を起さぬ」「戦争の悲惨な愚かさを心に刻む」「二度と再び同じ過ちを繰り返さない」などの言葉がありました。

手良遺族会長よりは叔父がレイテ島で亡くなったことにも触れ感謝の意を述べました。

常光寺住職の法話では「父の岐阜のお寺が特攻隊の宿舎となり翌日には出撃して行ったがみな青酸カリで死んでしまった」と思ふようになったけど、どうしようもないしねえ。語尾が消え入るよつに、みんな同じ事を思っているんだに、健康で夫婦揃って百歳までして頑張つてえ。夫婦揃って元気なんで羨ましい、私はもっと淋しいんだに、大声で叫びたいよつ。



手良遺族会会長挨拶

昼食会もあつて高齢者交通安全講習会

手良交通安全協会主催の手良地区高齢者交通安全講習会は9月28日に手良公民館で行われ高齢者など約70人が参加しました。

はじめに手良安協会長より「高齢者の交通事故が増えている、日暮れが早くなったので特に夕方は気をつけて」、手良地区高齢者クラブ代表より「講習会を機会に事故のないよつにしてほしい」などあいさつがありました。

講習会はビデオ「木久蔵交通安全物語」を観た後、伊那警察署巡查長（手良受持警察官）向田未来講師より講習がありました。



高齢者安全講習会

中坪公民館で絵手紙教室やっています

連絡先 高橋 781-0943



向山光子

地区内をハイキング 第8回「アムン」

手良地区活性化促進会議企画委員会主催の第8回「アムン」は8月に続いて10月19日の日曜日に行われ、野口公民館に男性20名、女性16名が集まりました。

この集いは「手良地区を元気にしよう、活性化しよう」ということで、新しい出逢いの場としてパートナー探しをお手伝いする「婚活イベント」です。

開会あいさつでは区長、地元市議員より積極的に頑張つてなつた話がありました。

その後企画委員の案内で男女に並んで会話をしながら手良のハイキングコースを歩きました。

野口公民館から雁高大明神、鳥居墳、鳥の宮湧水、蟹沢の中央アルプス展望ポイントなどを歩き絶好の天気の下で秋の景色を楽しみました。

野口公民館に戻りグループ毎に「バーベキュー台」を行いました。

閉会あいさつでは活性化促進会議会長より「この集いを良いきっかけにしてまた手良に関心をもちたい」と話がありました。



大高きコスモス炎暑過ぎにけり暑さ口や口を半分開くなり栗の花の香る小学校音楽会友葬送層間の蛙声低く満開の桜の合間に白飛び

俳句 コスモス 高橋 忠



(おねがい)身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思つます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。七八一〇九四三 高橋